

報道関係 各位

株式会社アドバンテスト

アナログ・テスト・システム「ADS1911」を販売開始

アナログ半導体デバイスに向けた低コスト・テスト

株式会社アドバンテスト(本社:東京都千代田区 社長:丸山利雄)の100%子会社である株式会社アドバンテスト九州システムズ(本社:福岡県北九州市八幡東区 社長:松木茂雄)は、比較的少数ピンである32ピンまでのアナログ半導体デバイス(以下、アナログIC)に向けたアナログ・テスト・システム「ADS1911」を開発し、2009年1月より販売を開始いたします。なお、この製品は2008年12月3日から5日まで幕張メッセで開催される『セミコン・ジャパン2008』にパネル展示いたします。

■ 開発の背景

一般に半導体は、パソコンなどで使用されているLSI(大規模集積回路)などのピン数が多い多機能なものや比較的少数ピンのアナログICやトランジスタ、ダイオードなどの単機能なディスクリート半導体デバイス(以下、ディスクリート・デバイス)など多岐に渡っています。

特にアナログICやディスクリート・デバイスは、携帯電話、デジタル家電、ゲーム機、自動車分野など多方面で大量に使用される反面、単価が安いものが多く、それらの半導体試験にはテスト・コスト低減が求められてきました。

■ 新製品の特長

- (1) アナログIC、ディスクリート・デバイスを最大8個まで同時試験可能
テスト本体のモジュールの構成を変えることで、アナログIC、ディスクリート・デバイスを最大8個まで同時測定を可能とし、テスト・コストを低減いたします。
- (2) DC試験*1における歩留まり向上
DC試験における測定精度を保証するため、高精度DCキャリブレーション機能を新たに採用しました。この機能により、製造現場における複数のADS1911間での性能差を最小にすることで、歩留まりが向上し、テスト・コストの低減に貢献いたします。
- (3) テスト・プログラム作成ツールで容易にプログラム作成
半導体を試験するための測定条件をプルダウン・メニュー方式で入力が可能となりました。テストで使用されているプログラム言語の理解に多くの時間を費やすことなく、テスト・プログラムを容易に作成することができます。

* 1) DC 試験とは、被測定半導体の入出力電流や入出力電圧、電源等の直流特性を試験すること。

定 価

アナログ・テスト・システム ADS1911 10 百万円から(構成により異なる)

販売目標

初年度 20~30 台

主な仕様

対象デバイス : 汎用アナログ IC、ディスクリート・デバイス、光半導体デバイス、
汎用ロジック IC

同時測定個数 : 最大 8 個

電圧／電流測定部 : デバイス電源
最大 8ch、±128V/±32mA、±64V/±64mA、±4V/±2A(パルス)
入出力電源
最大 64ch、±64V/±32mA、±4V/±64mA

製品に関するお問い合わせ先

株式会社アドバンテスト九州システムズ 営業部 電話:093-681-0200

* 本ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報であり、時間の経過または様々な事象により予告無く変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。